

各学校で取り組む働き方改革の内容と方法についての報告書

令和8年 3月

学校名【 猿橋小学校 】

2-(1)時間外在校時間に関する目標についての本校の取り組み内容と方法

●数値目標

- ・ 80 h 以上は 0 に。
- ・ 45~80 h は、25%以内に。
- ・ 30 h 以下の割合を 70%に。（2年かけながら）

●新日課時程の設定

- ・ 40分授業による午後3時下校
- ・ 「きずなの日」等の位置づけと実施
- ・ ノー残業デーの設定とよびかけ

2-(2)子供と向き合う時間の確保に関する目標についての本校の取り組み内容と方法

●新日課時程の設定

- ・ 40分授業による午後3時下校
- ・ 「きずなの日」等の位置づけと実施
- ・ ノー残業デーの設定とよびかけ

●その他

- ・ 校務支援システムの利活用
- ・ CSを通じた地域人材・ST（市単）の有効的な配置
- ・ 教科担任制及び交換授業等で授業準備の軽減
- ・ デジタル教材の活用
- ・ 給食・清掃対応の効率化

2-(3)ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標についての本校の取り組み 内容と方法

●新日課時程の設定

- ・ 40分授業による午後3時下校
- ・ 「きずなの日」等の位置づけと実施
- ・ ノー残業デーの設定とよびかけ

●その他

- ・ 校務支援システムの利活用と勤務時間記録
- ・ 休暇取得の促進（計画年休など）
- ・ チームスを柱にした校内共有フォルダ活用
- ・ CSを通じた地域人材・ST（市単）の有効的な配置
- ・ 教科担任制及び交換授業等で授業準備の軽減
- ・ デジタル教材の活用
- ・ 給食・清掃対応の効率化

4-(1)「業務の3分類」を踏まえた業務の見直しに係る本校の取り組み内容と方法

●新日課時程の設定

- ・ 40分授業による午後3時下校
- ・ 「きずなの日」等の位置づけと実施
- ・ ノー残業デーの設定とよびかけ

●その他

- ・ 校務支援システムの利活用
- ・ 年度当初の家庭訪問に替わり個人懇談を実施
- ・ 下校指導の日直当番制
- ・ CSを通じた地域人材・ST（市単）の有効的な配置
- ・ SCやSSWの積極的要請
- ・ 教科担任制及び交換授業等で授業準備の軽減
- ・ デジタル教材の活用
- ・ 給食・清掃対応の効率化

4-(2)学校における措置の推進に係る本校の取り組み内容と方法

●新日課時程の設定

- ・40分授業による午後3時下校
- ・「きずなの日」等の位置づけと実施
- ・ノー残業デーの設定とよびかけ

●その他

- ・校務分掌の見直し（特に教務主任に仕事を割り振り）
- ・各種調査書類の作成に関する担当を見直し、教員の記入作業の最小化
- ・授業準備・成績処理のICT化を進め、教材準備の一部をST支援員が担当
- ・要支援児童への対応を専門職と協働して行い、担任に過度な負担が集中しない体制